

デイサービス 27年目の挑戦

このたび、2023年7月1日より、いしはらの里『認知症対応型デイサービス かよい』が、芳川の里2F『芳川デイサービスセンター』の隣に移転することとなりました。

両デイとも、スペースは少し手狭になり、『芳川デイサービスセンター』の定員は6名から35名に変更されましたが、サービス内容やケアの質をこれまでよりも充実させて、皆さまにますます喜んでいただける両デイサービスを目指して職員一同頑張っています！

デイサービス事業の変化

芳川の里の開設は1996年。芳川デイサービスも開設と同時に営業が始まりました。今年で27年目を迎えます。

当時はまだ介護保険制度が始まっておらず、地域の高齢者に対して日々の生活のサポートや社会的な交流の場を提供する事業であったため、ご自分で作ったお漬物やおかずを持ち寄って、ご利用者同士で楽しむこともあったそうです。

デイサービスのリニューアル

2022年秋に、『認知症対応型デイサービス かよい』を『芳川デイサービスセンター』の隣に移転することを決定。

移転に際し、行政との調整や、それに係る必要書類の準備、運営基準や契約書類の再整備、ご利用者を受け入れるスペースや業務の調整等、半年間で莫大な量の仕事を、両デイの副主任、統括主任を中心に、介護職員、相談員、管理職で分担して進めてまいりました。

またこれを機に、開設から27年間ため込んだ古い家具や不用品など、実にコンテナ6杯分の大掃除も合わせて行いました。

いよいよ新たな環境での営業が始まります。この移転プロジェクトが正解なのかどうかは、今のところまだわかりませんが、ご利用者や地域の方に『芳川デイサービスもデイサービスかよいも、今までよりも良くなったね』『リニューアルしてよかったですね』と言っていたように、ここから職員一同、力を合わせて頑張っていかなければいけません。

ランに沿ったサービスを提供することが求められるようになりました。

お達者なお年寄りがデイサービスを使えなくなり、歩行器や車いすを使用するご利用者が増えたことで、安全の為に座席まわりにスペースを大きく確保する必要があります。

また入浴についても、開設当初は、銭湯気分を味わっていただいていた大浴槽などはほとんど使われなくなり、今ではひとりひとりに対応する個浴槽をご利用いただいています。結果的に時間的に一日当たりに入浴していただける人数が制限されてしまう事になります。

さらにコロナ禍においては、席の間にパーテーションを設けるなど、更にスペースが必要となり、新規ご利用者の受入れを制限せざるを得ない状況になる事もありました。

現在では、一日の平均ご利用者数は20数名程度となっています。

社会情勢が大きく変化していく時代の中で、時代を読み、その時代のニーズに合わせて柔軟に変化していくことが、どの職業にも求められています。しかし、時には変化することが怖いと感じることもあるかもしれません。

私たち芳川の里職員を支えるものは、ご利用者や地域の人を大切に想う気持ちです。同じ気持ちを持つ仲間と共に、これからも前を向いて、楽しく、歩みを進めてまいります。

芳川の里 課長 小出裕美

経営的な判断

実際のところ、ご利用者数が減少する状況は、経営にとっては大きなマイナスとなります。

『デイサービスを楽しみにしてください地域の期待に応える』や『職員の雇用を守る』という目標は、年を重ねるごとに高いハードルとなっていきます。

人件費を抑えるために、雇用職員を正職員から非常勤や時短勤務を増やす方針を取り入れ、職員の業務負担はいつそう大きくなりました。しかし、介護職員は『ケアの質は下げない』というところにこだわってくれています。

そこで、当法人の建屋が離れている二つのデイサービス同士で、大変なところを補い合えるように出来ないか、と管理部門から提案しました。